

平成24年度

NO.1

4月6日発行

4月号

仲町だより



なかよく

まなぼう

ちからいっぱい

練馬区立仲町小学校

新年度を迎えて

校長 澤井 英子

日差しがまぶしく輝き、やっとな校庭の桜の花が咲きそろいました。平成24年度が始まり、新たな気持ちで新学期を迎えました。新入生112名を迎え、全校児童725名22学級での出発です。今年は全学級が新しい仲間と創り上げることになります。友達の様々な個性に触れ、自分を発揮し、一人一人が安心して安全に過ごせる学級経営・学校経営に、教職員一致団結して取り組んで参ります。全校で取り組みます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

【本年度の新たな取り組み】

1. 講師の増員

算数・国語・体育の講師を配置しました。非常勤教諭も含め、少人数指導や複数の教師による指導で、児童一人一人をきめ細かく指導できるものと期待しています。

2. 集団づくり・学級経営の充実

全校で、集団づくり・学級経営の充実を目指します。そのために、「仲町小のやくそく」を一つ一つ確認する時間を設けます。分かっていることと、気付いていないこともありそうです。また、学校生活のごく基本的な事項を「仲町スタンダード」として子供たちに示し、全ての子供がどの学級に行っても混乱しないようにします。

3. 言語活動

日々の生活の中で、気になる発言が時折見受けられます。穏やかに話せるよう指導していきます。また、読書活動では、「図書ボランティア」の皆さんにご協力いただきながら、低学年への「読み聞かせ」の時間を増やすなど、今まで以上に充実させていきます。

4. 児童朝会・集会

毎週水曜日に、児童集会・音楽朝会・体育朝会を行っていますが、土曜日にも設定できることもあり、23年度に比べて、合わせて12回多く設けます。様々な活動を通して、児童の活躍の場を増やし、子供たちに達成感や成就感を養っていきたいと考えています。

5. 給食調理の民間委託

「株式会社 東陽食品」が、調理業務に当たります。今まで5名の練馬区職員で担ってきた調理作業を12名の方が担ってくださいます。そこで、給食の配膳車を子供たちに必ず受け渡してくださるそうです。配膳時に、安心して過ごせることと期待しています。

【お願い】

前年度、インフルエンザの集団発症時に、給食配膳中の当番の児童が、「マスク」を使用すべきとのご指摘をいただきました。早速、公費で全給食当番分の「使い捨てマスク」を購入し、対応しました。今後も「マスク」を使用させたいのですが、全給食日数分の「マスク」を公費で購入することが難しい状況です。そこで、各学年の教材費と一緒に、「マスク代」として、一人200円程度集金させていただけるとありがたいです。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。